

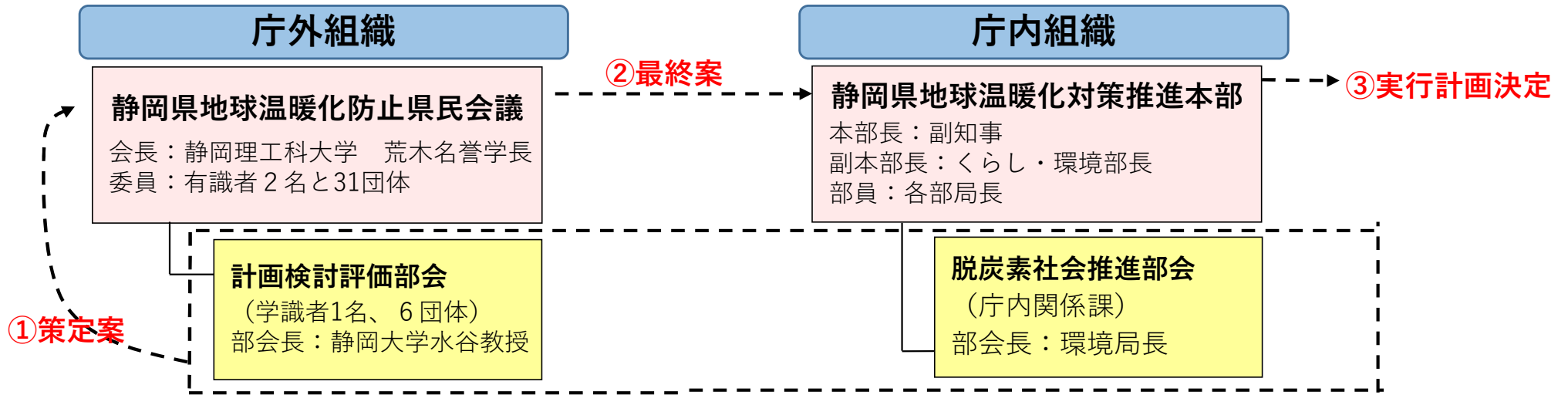
---

# 第4次 静岡県地球温暖化対策実行計画（案）

---

静岡県くらし・環境部 環境政策課

# 1 計画策定の経緯と今後の予定



年	月	内容
2021年	2月	第1回静岡県地球温暖化防止県民会議（策定の方向性等）
	3月	第1回計画検討評価部会（～11月：第3回まで継続開催）
	4月	第1回静岡県地球温暖化対策推進本部（策定の方向性等）
	5～6月	計画検討評価部会・静岡県地球温暖化対策推進本部（合同） 計画策定に向けた勉強会（計3回開催）
	7月	第1回脱炭素社会推進部会（削減目標の考え方等）
2022年	1月～	パブリックコメント
	2月	第2回脱炭素社会推進部会 第2回静岡県地球温暖化防止県民会議
	3月	第2回静岡県地球温暖化対策推進本部（計画の決定）

## 2 計画の位置付け

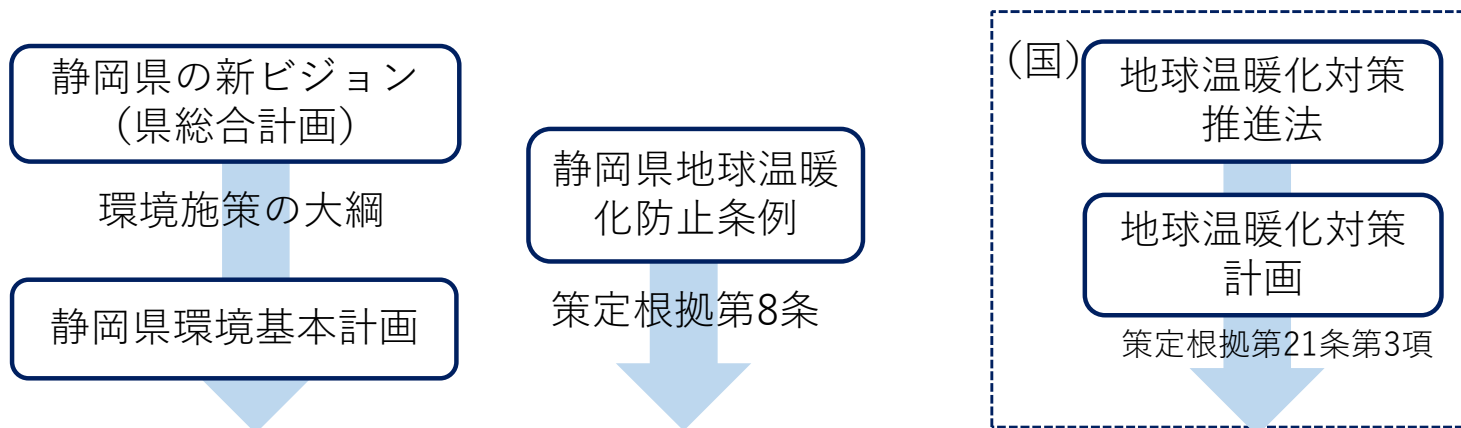
### < 計画の概要 >

2030年度までの新たな県内の温室効果ガス削減目標を設定し、県民、企業、行政等社会全体が連携して脱炭素社会の実現に向けた取組を行うための新たな計画を策定する

目 的	県内の温室効果ガスの排出抑制
策定年月	2022（令和4）年3月 ⇒第3次計画の期間終了に伴う
計画期間	2022（令和4）～2030（令和12）年度 9年間 5年後程度をめぐり見直し
目標年度	2030年度
基準年度	2013年度 国の計画と整合

## < 計画の位置付け >

- ・地球温暖化対策推進法に基づく「地方公共団体実行計画（区域施策編）」
- ・静岡県地球温暖化防止条例第8条に基づく地球温暖化対策に関する計画
- ・環境部門の大綱「静岡県環境基本計画」の個別計画。関連する計画等と連携して推進



### 静岡県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

< 関連計画 >

静岡県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

静岡県の気候変動影響と適応取組方針

ふじのくにエネルギー総合戦略

静岡県産業成長戦略

静岡県緑化推進計画

静岡県バイオマス  
活用推進計画

静岡県循環型社会  
形成計画

静岡県森林共生  
基本計画

ふじのくに生物  
多様性地域戦略

### 3 計画策定の背景

- ◆世界の年平均気温は、長期的には100年当たり0.72°Cの割合で上昇
- ◆地球温暖化により、異常気象による災害の頻発、海面上昇による陸地の水没、動植物の絶滅リスクの増加、熱中症患者やマラリア等の伝染地域の増加、食料不足などの影響が懸念

#### <世界の動き>

- ◆2014年：IPCC報告（温室効果ガスの排出が地球温暖化の支配的な原因）
- ◆2015年9月：SDGs「持続可能な開発目標」（2015年9月の国連総会で採択）
- ◆2015年12月：パリ協定（今世紀中に温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す）
- ◆2021年8月：IPCC将来予測（21世紀中に気温の上昇は1.5°C及び2°Cを超える）

#### <日本の動向>

- ◆2020年10月：2050年カーボンニュートラル宣言（首相の所信表明演説）
- ◆2020年12月：「グリーン成長戦略」策定
- ◆2021年6月：地球温暖化対策推進法改正、地域脱炭素ロードマップ策定
- ◆2021年10月：エネルギー基本計画、地球温暖化対策計画の改定

#### <本県の状況>

- ◆2021年2月：2050年脱炭素社会の実現を目指す旨を表明
- ◆県内14市がゼロカーボンシティを表明（2022.1.31現在）

# 4 計画の目標

## <長期目標>

2050年までに温室効果ガスの排出量を吸収量と均衡させて実質ゼロとする  
脱炭素社会の実現を目指します。

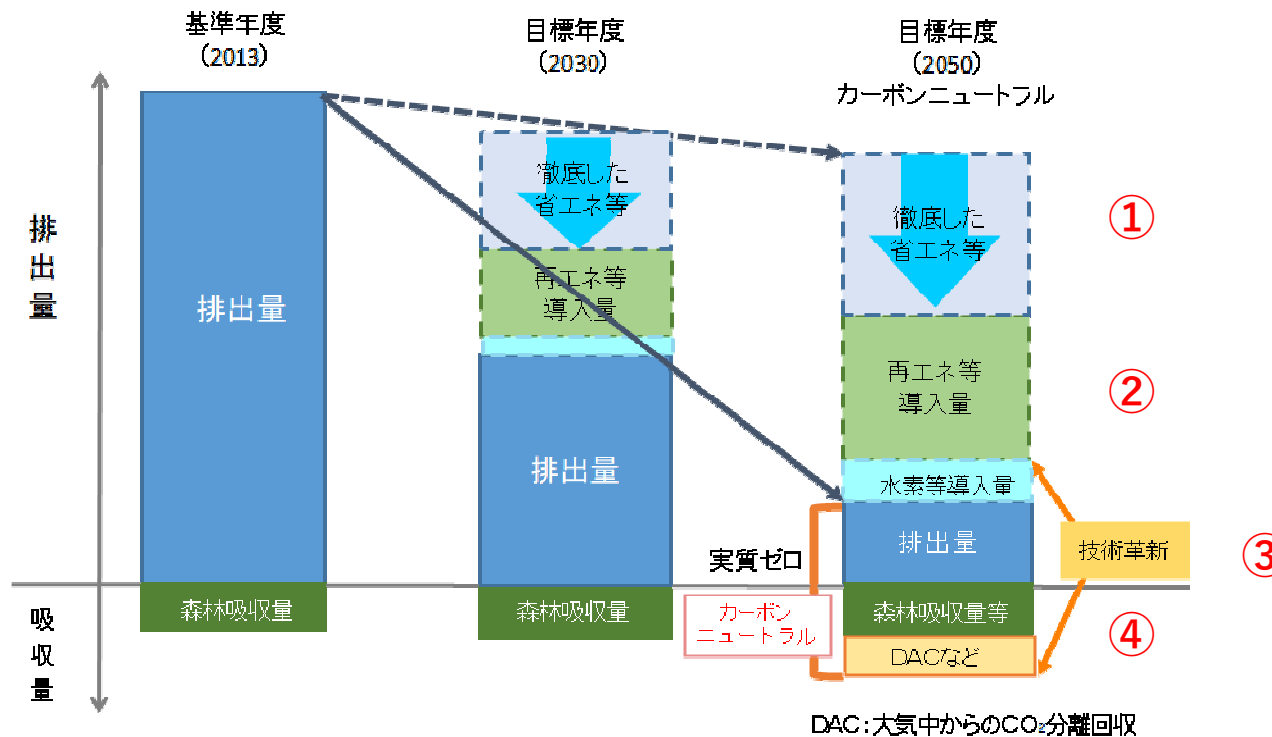
## <脱炭素社会の実現に向けた道筋>

① 徹底した省エネルギー対策等の推進

③ 技術革新の推進

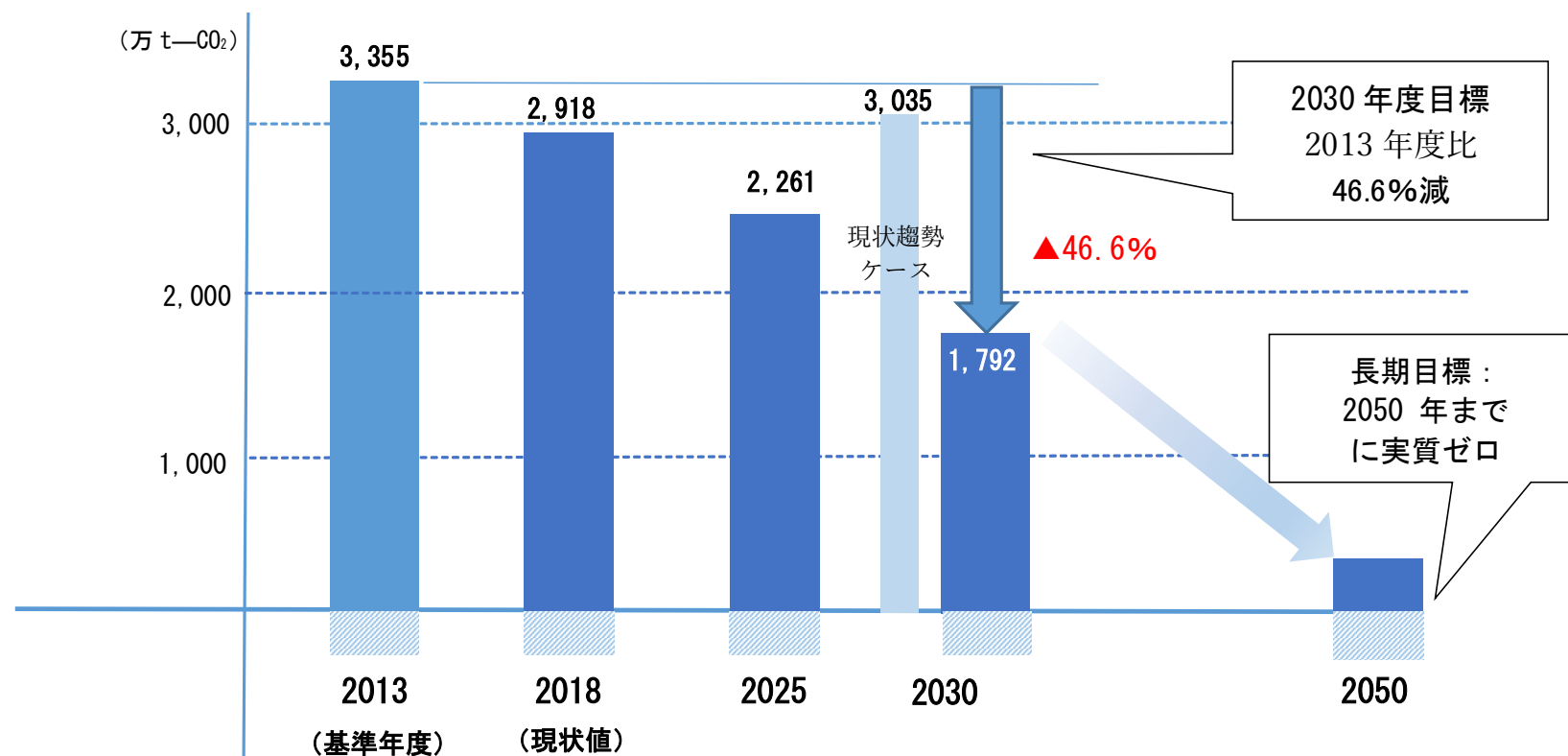
② 再生可能エネルギー等の導入

④ 吸収源対策の推進



## < 温室効果ガスの2030年度目標 >

2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で**46.6%削減**することとし、更なる高みを目指します。



## < 再生可能エネルギー導入目標 >

2030年度までに再生可能エネルギーの導入量を84.7万klにします。

2019年度：49.7万kl ⇒ 2030年度：**84.7万kl (1.7倍)** (原油換算)

## <分野別削減目標>

(単位：万-CO<sub>2</sub>、%)

部門	2013 基準年度 (A)	2018 現状値	2030 現状趨勢 ケース (B)※	2030 削減 見込量 (C)	2030 排出量 (D = B - C)	基準年比 削減率 (D/A)-1
産業部門	1,287	1,191	1,228	446	782	△39.2
業務部門	605	427	416	233	183	△69.8
家庭部門	592	502	525	214	311	△47.5
運輸部門	590	573	557	126	431	△26.9
廃棄物等	75	89	91	43	48	△36.0
その他ガス	206	213	218	89	129	△37.4
うちHFC	120	142	151	84	67	△44.2
小計	3,355	2,994	3,035	1,151	1,884	△43.8
吸収量	(△74)	△76	—	92	△92	—
計	3,355	2,918	3,035	1,243	1,792	<b>△46.6</b>

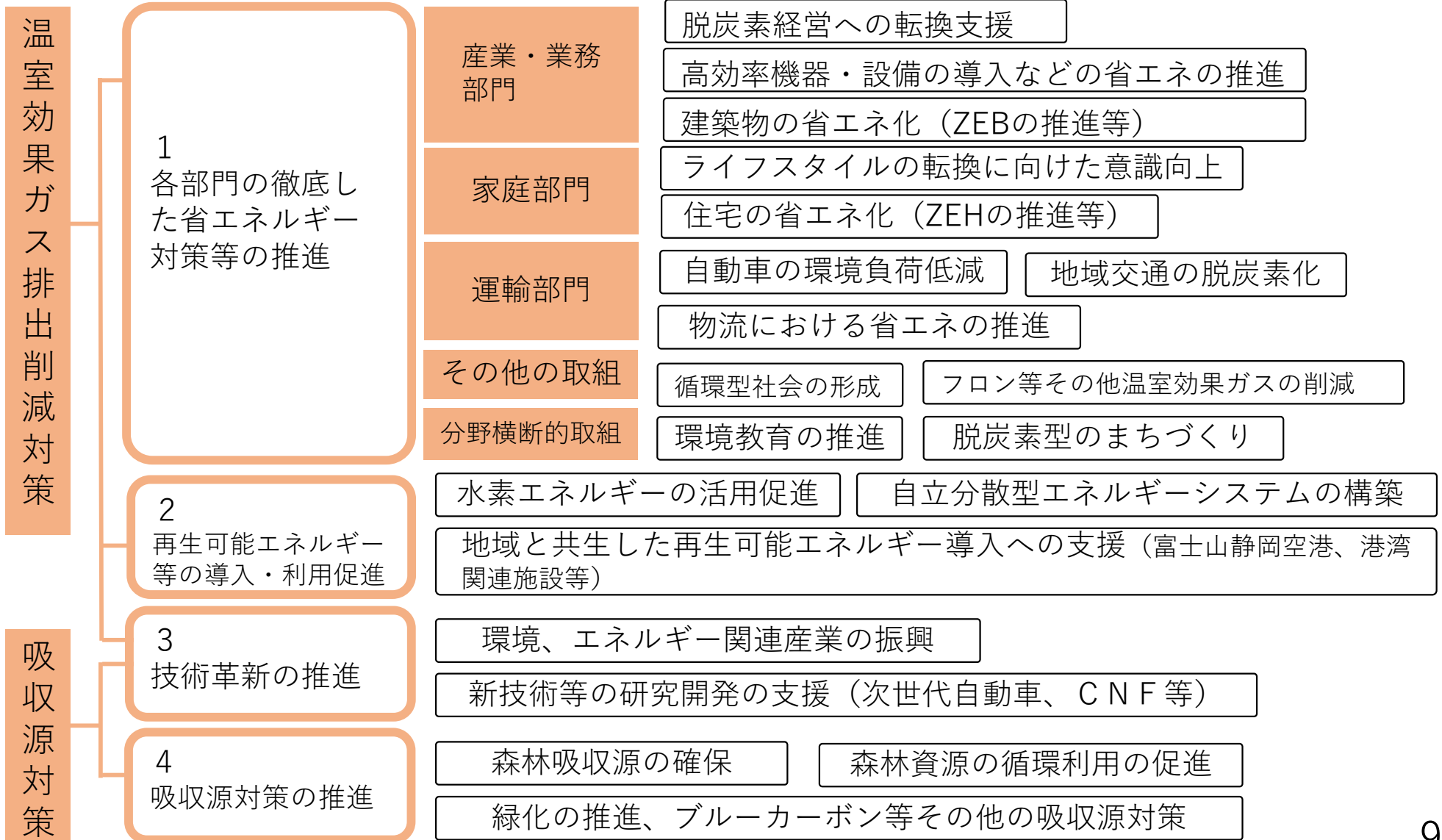
### ※現状趨勢ケース

現在実施している対策のみで、追加的な対策を講じなかった場合に想定される温室効果ガス排出量を推計したもので、現状（2018年度）の排出量を基に、人口や製造品出荷額等の将来推計を用いて算定



# 5 取組の内容 施策体系

4つの基本方針に基づき、ライフスタイルや産業構造の大きな変革に取り組む



## <重点施策>

### 1 中小企業等脱炭素化推進支援プロジェクト

・排出の多い産業・業務部門の脱炭素化  
・特に中小企業の実践促進が必要

中小企業等の脱炭素化への取組支援強化

### 2 建築物・住宅の省エネ化の推進

一旦整備すると効果が長く継続するため、環境配慮型への転換が必要

建築物・住宅のZEB・ZEH化の促進等

### 3 脱炭素型ライフスタイルへの転換

ライフスタイルの脱炭素化が必要

展開している県民運動の更なる充実

### 4 再生可能エネルギー等の導入拡大

エネルギー源を化石燃料から再生可能エネルギーに転換することが必要

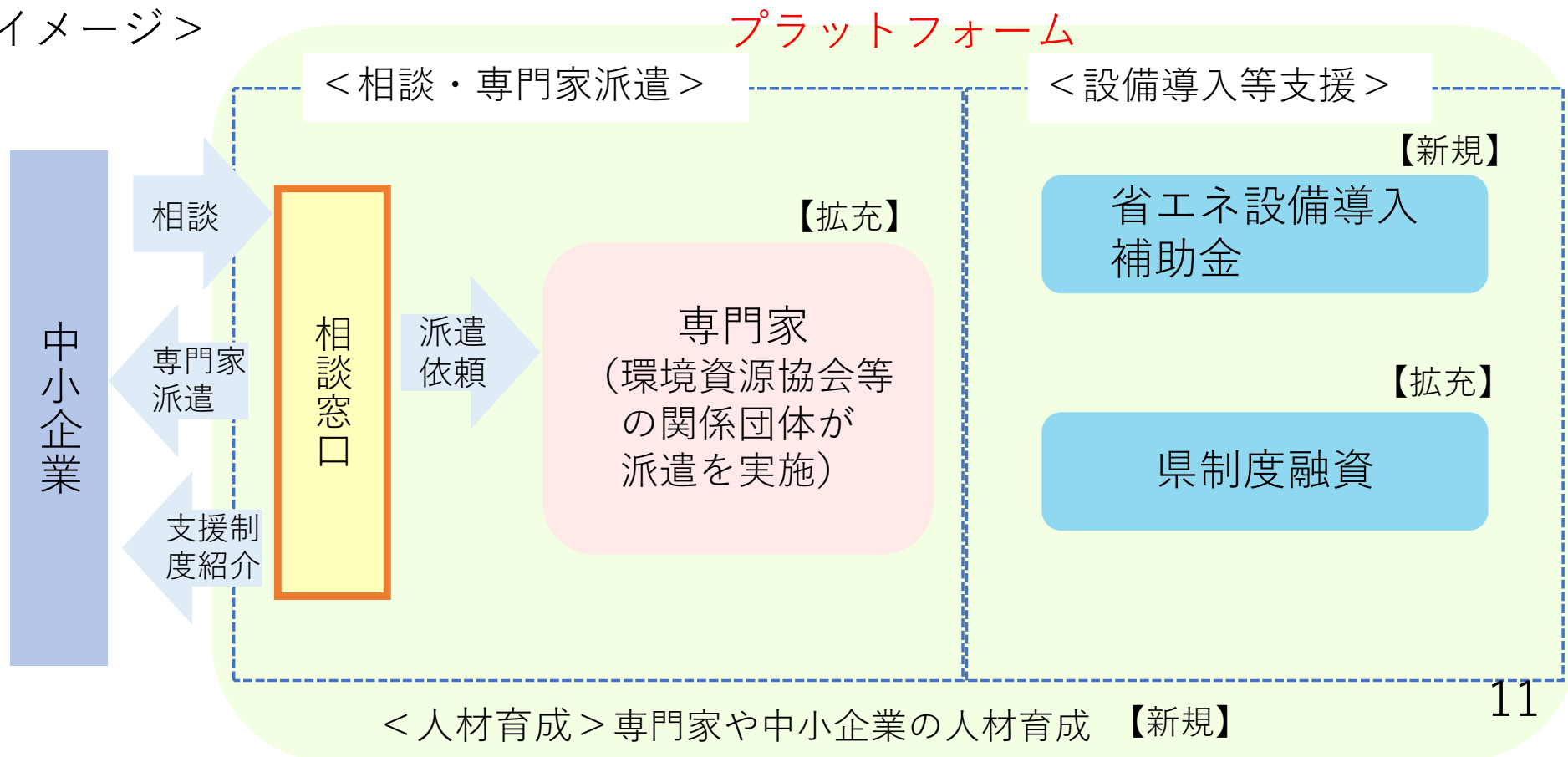
再生可能エネルギー導入の促進

# 重点施策1：中小企業等脱炭素化推進支援プロジェクト

中小企業等の脱炭素化に向けた取組を強力に支援するための体制を充実し、産業・業務部門全体での取組の進展を図る

- ◆相談窓口の新設
- ◆専門家による企業への「省エネ支援員」の拡充
- ◆中小企業等への省エネ設備導入に対する支援

<イメージ>



## 重点施策2：建築物・住宅の省エネ化の推進

県内の建築物のZEB化や住宅のZEH化を促進するとともに、公共建築物は率先してZEB化・ZEH化を進める

### <建築物のZEB化>

#### ◆ZEB等先進的省エネ建築物の普及

先進的な省エネ建築物の事例を専用サイトにて紹介し普及を促進

#### ◆県有建築物ZEB化設計指針の策定

策定する指針に基づいて、県有建築物のZEB化推進



### <住宅のZEH化>

#### ◆新築住宅のZEH化や既存住宅の断熱改修への助成

ZEH相当の断熱性能機能を有する新築住宅への助成等

#### ◆住宅の省エネ化促進に向けた研修会・広報の充実

建築関係者への研修会や県民向けの講習会の開催等

#### ◆公営住宅のZEH化推進

今後新築する県営住宅はZEH化に取り組む  
市町営住宅にも積極的に働きかけ

静岡県住宅振興協議会 省エネ住宅連続講習会

環境と健康を考えた  
これからの家づくり 来場・WEB  
選択可能

2021/8/27, 10/25 (住生活月間講演会)  
2022/1/24 各回 14:00~16:00

第1回 持続可能な社会、住まいのあり方は今日の課題  
～SDGsをくらしの中で位置付けよう～

第2回 省エネと健康換気を結びつける  
～ウイルスコロナ社会における住宅空気環境のあり方～

第3回 国土を守るために地域の針葉樹の特性を知り活用する  
～地域の針葉樹活用が導く省エネと健康～

これからの家づくりで当たり前にあって受容率住宅。  
今回の講習では、自然素材を応用したエコ住まいづくりを解説します。  
また、来場において都府県から関連した施策の情報提供をします。

講師  
建築家・一般社団法人 エコハウス研究会 代表理事  
丸谷 博男

- 1978年 東京都練馬区「大泉学園の家」(DMソーラー発祥の家)
- 1982年 東京都豊島区「豊島建設事業協同組合会館」(屋根集熱・アース  
チャージ「気候応用型」実証)
- 1993年 北九州市環境共生住宅「びまわりの家」(水循環、ダイレクトデザイン、  
付帯施設、DMソーラー)
- 2007年千葉県千葉市緑区「ケミステーションモデルハウス」(化学物質を使用  
しない家づくり、DMソーラー、風洞・風の道)
- 2010年北九州市豊島区「ユウアムビル」(エコハウス北九州) (呼吸する壁、  
断熱、木の調湿断熱材、可変遮光シート、調湿フィン土壁)
- 「EcoHomeの家(施設)」は2012年～現在、静岡市の施設建設・ことも風、  
静岡市・浜松市の住宅へ静岡県内の様々な建築士が導入に取り組みている。  
充分に活用して省エネをいたします。

会場  
静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ  
会議ホール・風 (静岡市駿河区東静岡2丁目3-1)

定員 各回100名 (先着順) 申込確認可能人数の1/3程度  
参加費無料  
録画YouTubeの配信もご用意いただけます。(開催後、2週間限定)  
主催：静岡県住宅振興協議会

ZEB (Net Zero Energy Building) /ZEH (Net Zero Energy House)：大幅な省エネと、再生可能エネルギーでエネルギー消費量をゼロとすることを目指したビル、住宅

## 重点施策3：脱炭素型ライフスタイルへの転換

温暖化対策アプリ「クルポ」の機能の充実や家庭でのエネルギー使用量等の見える化を図る「うちエコ診断」などの県民運動等を展開

### ◆アプリ「クルポ」の機能の充実

- ・スマートフォン等のアプリ「クルポ」の機能を充実して幅広い世代へ普及
- ・脱炭素アクションへの取組を促進

#### クルポ

脱炭素アクションをしてポイントを貯めると抽選で賞品が当たる楽しみながら温暖化対策に取り組むアプリ



### ◆気候変動等に関する新たなWEBコンテンツの整備

子ども向けに、温暖化を含む総合的な環境学習のためのWEBコンテンツを開発し、学校や家庭での活用促進を図る

### ◆「うちエコ診断」の実施

専門家である「うちエコ診断士」による専用ソフトを使った家庭での省エネ策等への助言、WEBでの自己診断の活用促進によりエネルギーの見える化を促す



## 重点施策4：再生可能エネルギー等の導入拡大

公共施設において率先して再エネ導入を図るとともに、情報発信や助成制度等を通じて、民間事業者による再エネの導入を促進

### ◆公共施設への再エネの導入

富士山静岡空港や港湾など、公共施設に太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーや高効率空調・照明を率先して導入

### ◆太陽光発電、バイオマス、小水力発電等の導入促進

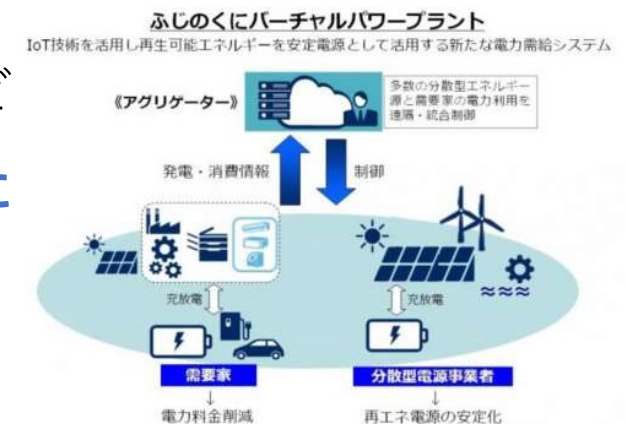
- ・ 荒廃農地への太陽光発電設備の導入、発電と営農が両立する営農型太陽光発電の導入拡大を推進
- ・ 設備設置事業者が初期費用負担、住宅所有者の負担なしで設置する「ゼロ円ソーラー」への支援 など

### ◆水素エネルギーの普及・水素ステーションの設置

事業者による水素ステーションの設置を支援 など

### ◆バーチャルパワープラント（VPP）の社会実装に向けた取組

地域内での電力融通を可能とするVPPの構築を目指し、社会実装に向けた取組を支援



## 6 計画の推進

計画を推進するため、各主体と連携。「静岡県地球温暖化防止県民会議」と「静岡県地球温暖化対策推進本部」は協力して温暖化対策を推進していく

